

## 【美和ダム・戸草ダム候補地視察】

この数カ月の間に、天竜川治水及び防災に関するイベントが多数ありました。

- ① 5/14 (火) 河川合同巡視(飯田市河川出張所) かわらんべの駐車場にて
- ② 5/16 (木) 天竜川水系河川整備計画変更原案説明会、天竜川上流河川事務所 飯田市役所にて
- ③ 6/2 (日) 土砂災害避難訓練 水害避難訓練
- ④ 6/24 (月) 天竜川水系河川整備計画変更原案説明会：主催 川路水害予防組合 川路公民館にて
- ⑤ 6/30 (日) 川路フォーラム 川路公民館にて
- ⑥ 7/6 (土) 美和ダム・戸草ダム候補地視察

今回、⑥の美和ダム・戸草ダム候補地視察のようすを報告します。

**と き**：令和6年7月6日(土) 8時30分～

**参加者**：川路まちづくり役員 16名

**ようす**：美和ダムに到着すると、早速 美和ダム管理支所のゲート操作室に案内されました。操作卓、画像表示盤が沢山並んでいて美和ダムの頭脳と思える部屋でした。



そこで、菊池副所長から説明を受けました。

まず、事前に出していた質問への回答をいただきました。

参加者から意見・要望として、天竜川は水の濁りが最近目立っており、漁協関係者から何とかしてほしい

との要望があることを伝えました。

三六災を伝える方法として、CGを作成したら緊迫感をもって伝わるようになるのでは？映像による伝承は効果が大きいとの意見に予算の関係もあるが検討したいとの回答でした。

昭和63年：戸草ダム建設事業に着手  
↓  
平成13年7月：田中康夫知事の脱ダム宣言を受け、県は戸草ダムの取り下げ



土砂バイパス吐口 一見噴水？

**貯水池堆砂対策**：美和ダムへの堆砂を抑制し、恒久的に洪水調整機能を保全する。・・・0.1～0.2 mm以下の土砂(wash load)をストックヤードに貯めておき、洪水(※)の時にダム下流に土砂バイパスを通して排砂します。 ※洪水：100トン/秒の水量で5時間以上継続する場合とのこと(R6年5月に初めて排砂したとのことです。)

➡全国の多目的ダムでは初めての事例とのこと。排砂された土砂は天竜川を下り海まで流れていくとのことですが、天龍峡の河床が上昇しなければよいです。やっぱり、天龍峡の河床高さ監視は大事です。



戸草ダム建設候補地ここも水面下の予定

次に、**戸草ダム建設候補地**へ菊池副所長の案内で向かいました。鍵が掛かったゲートを開けて、山道へ突入です。道は狭く片側は深く急斜面の谷です。遥か下の谷底に川が流れていて、ここは将来ダムの底に沈んでいるかもしれないと思いを馳せました。当時の計画では、ダムの高さは140mだそうです。戸草ダムの候補地まで来て視察したのは、川路まちづくり委員会の他ごく僅かとのことでした。改めて、貴重な経験をさせていただきました。


## 【天竜川河川敷アレチウリ駆除】

環境保全委員会（塩澤 茂治 委員長）は令和6年度事業計画である天竜川河川敷アレチウリ駆除作業（第1回目）を実施しました。

昨年実施した駆除は時期が遅くてアレチウリが伸びすぎて、根っこから抜くのが難しかったとの反省により、今年は2週間早く行ったとのこと。

また、地域の小・中学生にも案内を配布して協力をお願いしました。

**と き**：令和6年7月7日（日）7時～作業開始

**場 所**：留々女沢川～相沢川間の堤外地（ 印）

**ようす**：参加者 74名

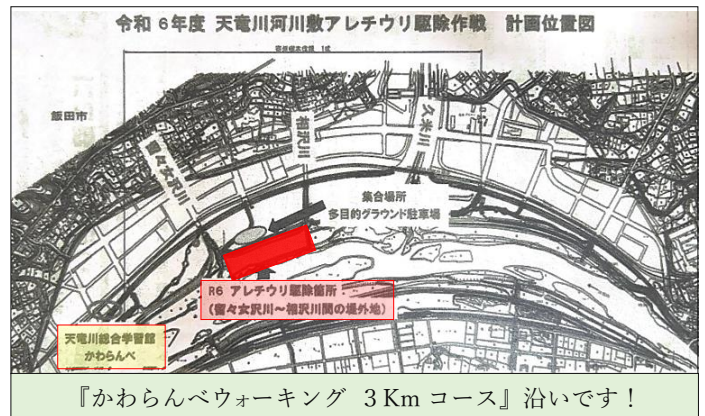


かわらんべの寺澤館長から、アレチウリを根っこから抜くという、「川路方式」は効果が



評価されてきており竜丘、龍江でも今年から実施していると報告がありました。

この「川路方式」は同じ場所を5年続けるとアレチウリの駆除効果が大きいと言われております。実施した場所は今年で3年目です。あと2年頑張っって結果を楽しみにしましょう！



昨年と比較すると確かにアレチウリは少なくなっていると実感しました。昨年は、時期が遅く、伸びていた為、量も嵩んだのでしょうか？

違う！と確信しているのは私だけ？



天竜川上流河川事務所の吉田所長が参加され、7月は河川愛護月間であり、川路地区ではアレチウリ駆除作業を計画いただいたことに感謝しますと挨拶がありました。

◆次回は9月7日（土）第2回目を予定

☆種子をつける前に抜き取る ➡ 効果大！

1年草のアレチウリ



**クズ**  
茎から3枚の葉



**アレチウリ**  
茎から1枚の葉

特定外来生物のアレチウリは、1株あたり20,000個の種子をつけることもある厄介者です

